

北海道浮魚ニュース

令和 7 (2025) 年度 8 号

2025 年 7 月 31 日

道総研 水産研究本部 函館水産試験場

【URL】 https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html

◎日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 31 日に日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので概要をお知らせします。今回は日本海を対象とした漁期後半（8 月～12 月）の予報です。

なお、この予報は国立研究開発法人水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し、水産研究・教育機構がとりまとめを行いました。詳細は下記のホームページからご覧いただけます。

水産研究・教育機構 (<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>)

「我が国周辺の水産資源の評価 漁海況予報」 (<http://abchan.fra.go.jp/gk/>)

今後の見通し（2025 年 8 月～12 月）

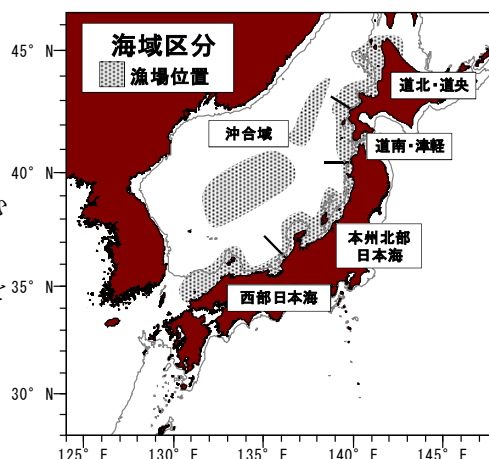
対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海（道北・道央、道南・津軽、本州
北部日本海、西部日本海、沖合域）

対象漁業：主にいか釣り・小型いか釣り漁業

対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・今期の日本海全体の来遊量は前年および近年平均を下回る
- ・道北・道央海域では前年および近年平均を下回る
- ・道南・津軽では前年および近年平均を下回る
- ・本州北部日本海では前年および近年平均を下回る
- ・西部日本海では前年および近年平均を下回る
- ・沖合域では前年および近年平均を下回る



※近年は最近 5 年間（2020 年～2024 年）

※道北・道央海域は 8 月～9 月を対象とする

- ・6 月中旬～7 月上旬に実施された日本海スルメイカ漁場一斉調査（函館水試調査分は浮魚ニュース第 6 号を参照）では、日本海全体への来遊量の目安となる全調査点の平均 CPUE（いか釣り機 1 台 1 時間あたりの漁獲尾数）は 0.30 尾となり、前年（0.38 尾）および近年平均（4.53 尾）を下回り過去最低となりました。
- ・日本海スルメイカ漁場一斉調査での外套背長組成はモードが 17cm 台にあり、前年（19cm 台）よりも小さい傾向にありました。
- ・本州北部日本海海域における漁獲量は 5～6 月は前年を上回りましたが、近年平均を下回りました。漁場は 5～6 月にかけて能登半島の西側に形成されましたが、新潟県より北側ではほとんど漁場が形成されませんでした。また、7 月には能登半島の西部の漁場もみられなくなりました。

（函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849）